

改めて問う、都市計画道路と環境配慮



百瀬和浩(リベラル保守)

① 優先整備路線に選定された都市計画道路3・4・1号線、3・4・11号線について、パブリックコメントの結果、地域住民の活動に鑑みれば、市は東京都に対して見直しを求めていくべきであるが、いかがか。市として都に対して見直しを求めていくのか、基礎自治体としての意向は何であるのか、市長に見解を求める。

市長 3件の陳情が採択されたことは重く受け止めている。総合的に判断し調整を図りたい。

都市整備部長 昭和37年の線が現状に合っていないところもある。都とも調整をしながら、見直しをしていくところは見直しが必要だと考えている。

学校給食に地場産野菜を促進しないか



紀由紀子(公明党)

① 学校給食に地場産野菜を促進しないか。今まで訴えてきたが、使用割合が低い状況である。食育推進基本条例が制定され、第4条で「市は、農業者、JA及び農業委員会と連携し、学校給食等で積極的に小金井産野菜等が利用されるように推進するよう努めるものとする」とあるが、学校給食に取り入れられる割合は小平市の20%と比べ、小金井市は3・5%と大変低い。

事業補助金を実施しないか。学校教育部長 (ア)JAとの連携は意義がある。JAと協議させていって進めていきたい。

市民部長 (イ)補助制度の在り方や生産体制、配送体制など先進市の事例を参考に生産者やJAの意見をしっかりと聴取し、市にどの様な仕組み作りが最適なのか検討していきたい。

② 自転車の利用・交通安全の向上について。(ア)自転車レーン等の自転車の走行空間の整備(ナビマークの推進)を。(イ)子どものヘルメットの購入補助を。都市整備部長 (ア)有効性を検証する。(イ)啓発活動に努めたい。

生活再建型の納税相談／就学援助の充実を



片山薫(緑・市民自治)

① (ア)生活困窮者への確実な支援実施のために必要な庁内連携の状況は。(イ)相談者をたらい回しにしないワンストップの窓口を。(ウ)納税課で検討していたファイナンシャルプランナーの活用、債権管理条例の策定は。(エ)早急に家計支援相談の体制の確立を。(オ)子どもの貧困対策では大人への支援が必要。自立相談サポートセンター等が連携して子ども食堂支援やフードバンクの環境整備を。

福祉保健部長 (ア)5月に関係部署の意見交換会を行った。連携の重要性を伝え、協力を求めた。(イ)窓口で待つのではなく積極的なアウトリーチに取り組む。

② (ア)実態把握、研究を進める。(オ)自立相談サポートセンターは重要な役割を果たすと考える。市民部長 (ウ)専門チームが理想だが、自立相談サポートセンターとの連携を強化する。債権管理条例は庁内全体で検討する。

保育所の待機児童ゼロを目指して



森戸洋子(日本共産党)

① 市議団のアンケート調査で、認可保育所増設を求める切実な声が寄せられている。(ア)計画どおりに保育所を増やせなかったのは。(イ)認可保育所を増やした来年度の待機児童ゼロを目指す計画を立てるべきでは。

子ども家庭部長 (ア)認可基準要件のクリアや用地確保が困難であり、確保に不足が生じた。早期の是正を図っていく。(イ)平成28年度の認定こども園、小規模保育施設の新規開設、認可保育所の開設も早急に検討する。

② 孫育て講座やガイドブックを作成し、子育ての支援を。子ども家庭部長 民間団体の講座開催への協力や、ガイドブック改訂時に研究していきたい。

③ 都市計画道路の整備について。市の動きはどうか。(イ)宮本徹衆議院議員が本計画について地元の理解を得る必要性を問うたのに対し、国土交通大臣は同調している。都に対し、市民と意見交換をするよう働きかけないか。都市整備部長 (ア)都は自然環境調査を行い、景観や環境に配慮した構造検討を進めていくこと。(イ)都と調整したい。

平成27年度 政務活動費収支報告

政務活動費は、議員の調査研究等に必要経費の一部として、議会における会派に対して交付するものです。各会派の収入・支出報告書、支出調書については、市ホームページに掲載します。また、各会派の収入支出整理簿や領収書等は、小金井市情報公開条例の手続きにより公開を請求することができます。

会 派 名	交付額(A)(※1)	預金利子(B)	収入(A+B)(C)	支出額(D)	返還額(C-D)(※2)
自由民主党小金井市議団	1,560,000円	110円	1,560,110円	1,270,113円	289,997円
日本共産党小金井市議団	1,440,000円	61円	1,440,061円	1,322,819円	117,242円
小金井市議会公明党	1,440,000円	96円	1,440,096円	905,508円	534,588円
小金井市議会民主党(※3)	720,000円	30円	720,030円	596,046円	123,984円
リベラル保守の会	720,000円	80円	720,080円	679,473円	40,607円
生活者ネットワーク	720,000円	56円	720,056円	253,057円	466,999円
改革連合	570,000円	88円	570,088円	7,046円	563,042円
緑・市民自治こがねい	450,000円	40円	450,040円	342,782円	107,258円
こがねい市民会議	360,000円	6円	360,006円	247,093円	112,913円
小金井をおもしろくする会	210,000円	4円	210,004円	210,000円	4円
小金井自由民主	330,000円	27円	330,027円	97,085円	232,942円
合 計	8,520,000円	598円	8,520,598円	5,931,022円	2,589,576円

※1 会派の所属人数に月額30,000円を乗じた金額を交付しています。
※2 残額は市に返還しています。
※3 平成27年度末時点の会派名です。



小金井市はGNP会員として印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。*ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。